令和８年度盛岡第二高等学校第２回学校運営協議会　議事録

令和８年１０月２２日（木）
１４：００～１５：４０
場所:盛岡二高　会議室
進行:副校長　記録：総務課

○出席者　学校運営協議会委員　　４名
　　学校職員　　１２名
○日程　13:45：受付　14:00：学校運営協議会（～15:40）

（１）開会の言葉　（進行：副校長）
（２）会長挨拶　　（朴澤副会長）
（３）校長挨拶　　（校長）
（４）令和８年度中間報告
ア　学校経営計画中間報告（校長）
・学校経営計画を職員が、理解するだけでなく、方針の達成のために、自分なりに把握し、実際の業務において創意工夫を重ねている。数値的な結果はまだでていないが、目指す方向に進んでいると思っている。
・この学校経営計画を体現する学校のスローガン的なものとして、「生徒の『好き』を大切にし、『得意』を伸ばす学校」を目指そうと、機会あるごとに、生徒や職員、外部の方々に話している。この言葉は、次期学習指導要領の作成に向けて、諮問を受けた中央教育審議会で示されていることばを参考に、私が提案したものである。
・今、子どもたちのおかれた環境は、変化の激しさのあまり、何が正しいのか、何を信じればよいのかが分からない状況である。その中で、しっかり自分でよく考え、判断し、自分の人生の航路を進んでいくための根拠は、『好き』ではないかと考えた。生徒自身は自分の『好き』を、教職員は生徒の『好き』を大切にすることが根幹だと思う。
・おかげさまで、生徒たちは、この半年間、それぞれの課題に向き合いながら、努力を重ねることに価値を見いだし、一所懸命に学校生活を送っていると感じている。
・３年生が進路目標達成に向けた学習への積極的な取組はもちろんのこと、部活動等においては、７月末に全校高等学校総合文化祭秋田大会において、書道部、文学研究部、視聴覚委員会、箏曲部、囲碁将棋同好会が参加いたしました。また、８月の全国高等学校近畿総体では、体操部、なぎなた部、卓球部が、団体、あるいは個人で出場し、全国の実力者たちを相手に、感動的なパフォーマンスを見せてくれた。現在は、各部で新人大会等が始まっており、２年生を中心とした活動となっている。
・学校経営計画では、生徒が主体的に取り組むことを重点にした。自分で問いを見つけ、その解決に向けて自ら考え、活動することであり、本年度それがよく表れたのは、「総合的な探究の時間」(Be-Project)である。夏休み前に、１、２年生が自ら、生徒によっては、外部の方に直接取材等をするなどして、様々なテーマを自分で選び、探究できたことは、今後につながる意義深いものだと思っている。
・今日はこれから、各担当から本年度の取組を説明させていただくが、その中で、生徒が主体的に活動した部分がどれだけあったかの視点でお聞きくださり、委員の皆様からさらなる充実のための提案をいただきたい。

イ　各課中間報告（各課主任）
【総務課】
・職員会議、重点目標会議、反省会議等は適切に運営されている。
　→職員会議資料は、データでの提出を実施。

・入学式、ＰＴＡ総会等は、保護者の方々のご協力で、円滑に進んでいる。
・始業式・終業式は teams の配信を使用し実施した。
→始業式・終業式の教室での実施については、生徒の健康に配慮し検討する。
・文化講演会の講師は、ＩＢＣ岩手放送アナウンサー甲斐谷望氏（二高 56 回生）
・学校へ行こう週間　11/2～11/6
・学校評価アンケートは 11 月実施。
・ＰＴＡ入会式はＰＴＡ説明会に名称変更し実施した。
・本年度から白梅振興会費を値上げした。(3,400 円→3,800 円)
・ＰＴＡ通信を 7/24 に発行した。二高祭では餅撒きやパン販売を実施。多くの方の協力を得た。
・ＰＴＡ研修旅行は宮城県で実施した。参加者は増加傾向。
・130 周年記念式典（R9.10.9 予定）
・130 周年記念事業会計の口座開設。
・130 周年記念事業拡大合同会議開催（R8.10.19)。
・８月、同窓会ＨＰを開設。
→９月に事務用パソコン購入。
・９月に同窓会名簿発行のはがきを委託業者から発送した。
→同窓会名簿は令和９年６月発行予定。

【教務課】
・教職員間で意識調査・学習状況調査の結果の共有を図り、学習指導に活用。
→７月学習状況調査
１年生　平日 49.2 分、休日部活有 74.0 分
２年生　平日 37.2 分、休日部活有 58.9 分
３年生　平日 48.0 分、休日部活有 62.2 分
→目標時間との開きが大きい。専門学校志望の生徒など、学習に対するモチベーションの低い生徒へのきめ細やかな対応が必要。
→１学年にて後期より新たな取り組み（上位者指導および課題提出困難者に対するサポート）あり。
・４月に面談月間を設定してクラス全員と早期に面談を行った。その後も面談を定期的に行い、個別指導の充実を図った。
→４月の面談月間は来年度も継続し、早期に個別の状況把握や意識付けを行いたい。
・各教科・科目における年間指導計画(ｼﾗﾊﾞｽ)の作成および観点別学習状況の評価は、概ね適切に行われている。
・情報・研究課や学力向上プロジェクトと連携しながら、研究授業や互見授業の充実を図っている。
→研究授業等にて行われているＩＣＴを活用した効果的な授業を模索する取り組みを、教員間で共有したい。
・“分かりやすい”かつ“受験に対応できる実力が身につく”授業の推進については、先生方それぞれが努力している。

【生徒指導課】
・衣替え、夏季の軽装は状況に応じて対応。
・６月１日から運動着での登下校を認め、熱中症予防に努めた。
→昨年度、防寒対策として冬季にジャージでの登校を認めた結果、４月以降もジャージ登校を続ける生徒がおり、指導した。今年度は 10 月 1 日から登下校時も制服を着用する規定を設けた。
・いじめ予防アンケート実施。
・令和 10 年度の制服改定については、生徒対象アンケートを６月に実施、その結果を踏まえて、生徒会生徒と共に冬服を３種類の候補に絞るところまで進んでいる。

・情報モラルに係る講座（１年生対象）12 月 7 日（月）実施予定。
・部活動：休日等の活動時間と週１回の休養日設定。
→部活動休養日の確保と時間規定遵守の継続。
・二高祭は校内で実施（熱中症対策を行ったが、健康上の事案はなかった）。
→二高祭の業務分担を生徒指導課内で行ったが、当日出張が２名おり、大変厳しい状態。
・バス乗車マナーの苦情。
→安全な自転車走行、公共機関の乗車マナーや近隣施設利用（コンビニ、バスセンター等）指導。
・自転車通学はヘルメット着用を条件として許可。

【進路指導課】
・各学年で「総合的な探究の時間」のガイダンスを進路課で実施。総探（1･2 年）は Be-Pro 及び大学模擬授業を実施。
→総探（1･2 年）は「Be-Pro」を中心に実施。今年度の Be-Pro サマー（夏季特別探究授業）は、フィールドワークを実施（生徒数人でチームを作り、外部に出て様々なことを体験・経験する）
・県外大学訪問（宮城県）を実施。
・教員対象大学説明会は積極的に参加。
・志望理由・小論文指導研修会実施。
・各学年ともＰＴＡ進路学習会を実施。
・進路指導課通信は第 5 号まで発行。
→定期的発行に努力。
・教務課が４月面談時間を設定。
・看護・保育体験、外部セミナー等に参加希望する生徒は多い。
→進路意識啓蒙につながることから、引き続き参加を奨励。
・志望理由書サマーキャンプはガイダンス 90 名超参加。参加生徒の取り組みも良好。
→探究と進路を繋ぐ、探究と授業を繋ぐ、この流れを二高スタンダードにしたい。
・大学入学共通テスト WEB 出願についてガイダンスと Teams 連絡を併用して周知した。
→大学入学共通テスト志願者 61 名（昨年度 87 名）。昨年度より WEB 出願。
・課外は概ね計画通り。
・模試結果は、各学年で共有、分析。
→昨年度から課外・模試は希望者。改善点を次年度につなげたい。
・総探、講演会等は学年の協力に感謝。
→進路関連チラシは Teams で紹介。
・会議は計画通り。
→進路対策会議への積極的な参加をお願い。

【保健厚生課】
・定期健康診断、事後指導において先生方の協力の元取り組むことができた。
→未治療者対策・感染症対策。
→歯科検診で虫歯・歯周病のない生徒の表彰を継続。
・熱中症での事故は無かったが、引き続き熱中症対策は必須である。
・健康教室は計画に添って実施中である。
→講師との日程調整が難しいため、早期に講師選定を行う。
・縦割であった掃除割当をクラス毎の割当に戻したが、問題無く掃除が行われている。
→日常的に床に座って話をする、物を食べる等、衛生面に無頓着な姿が見受けられるため、学校全体で指導の必要性あり。
・週末、体育館のトイレの汚れが目立つことがあった。
→土日に部活を行う部に体育館トイレの掃除をお願いしたい。

・数年前から雨漏りがあった体育館の補修をしていただいた。
・加湿器の配備、空気清浄器のフィルター交換を 11 月に実施予定。
→加湿器は希望があった場所のみ設置することとする。
・９月にシェイクアウト訓練、10 月に校内避難訓練を予定通り実施した。
・以前から要望していた非常用携帯トイレを生徒全員分購入することができた。
→生徒数に対して洋式トイレの数がかなり不足している状況であるため、和式トイレの洋式トイレへの改修を引き続きお願いしたい。（和式トイレ 23　洋式トイレ 17　多目的３）
・学校医と連携し、適切に健康指導を行った。
→12 月開催の学校保健委員会で学校医から様々なご意見をいただき、今後の健康指導に生かしたい。今年度も学校保健委員会において保健委員会の活動発表を行う。
・二高祭の模擬店で扱う食品は、今年度も簡単に出すことができるメニューとしたため、衛生面でも大きな問題はなかった。
→今年度も調理室に大型冷風機を入れていただき、熱中症を予防することができた。
・校内に購買を置いてはどうか、というご意見があったが、保健厚生課の意見として、現状では必要ないと考えている。
→補食の自動販売機の設置を検討したい。

【図書課】
・生徒の進路選択に応じた図書購入を実施。
→生徒の要望を第一に、進路等で必要な書籍を優先購入。教科から要望調査。
・各種読書感想文コンクール実施
・読書会は３年生６月、1・２年生 11 月に実施。
→読書会活性化のため、全学年ともビブリオバトル形式で実施する。
・三者面談中＜夏・冬＞の蔵書点検を実施。
・折々の飾りつけなどを行うとともに、放課後は生徒の自習場所を提供した。
・学校司書により、環境作りが行われている。
→事務補助員の存在が不可欠。今後も継続を。
・今年度からミニプレを行わなくなったので、利用が閲覧が中心
→新聞の利用について生徒に呼びかけたい。
・日常の貸出活動と蔵書点検を実施。二高祭での「栞作り」も好評だった。
→図書委員による『図書館だより』作製を指導したい。
→文化祭の取り組みは来年も続けたい。
・視聴覚委員は毎日の校内放送と外部大会で成果を上げた。
・芸術鑑賞会：7/16（木)、「HANDSIGN　ダンス＆コンサート」実施
→来年度は演劇となる。周年記念行事として、特別な演目が可能か検討したい。
・130 周年記念事業関連：10 年小史の編集・出版社と編集方針を検討中。
→編集方針を決定し、執筆を依頼したい。

【教育相談課】
・各学年との連携を深めるため教育相談会議を開けていることは、生徒情報の共通理解に役立っている。Teams でのケース会議も試みているが職員の多忙化の中でも情報共有・共通理解が可能になり早期の対応ができている。
→相談対象生徒の情報把握及び必要に応じて情報共有、対応策の検討等のための教育相談会議を迅速に。
・９月末現在　相談件数延べ 53 件（昨年度相談件数延べ 47 件）
→増加理由
・昨年度の利用者はある程度の落ち着きを持ち生活できるようになった。
・半面新入生の学校不適応の場面が出始め早期発見による SC 対応に至っている。

・定期利用に変えたこと。
→相談件数の増加に伴い担任の負担を増やさないよう継続して早めの対応を心掛ける。学年→教育相談会議など。
→継続して保護者、教員（担任外も含む）による空き時間の利用を積極的に進めて頂きたい。※一度話してすっきりし、その後、単発ではなく継続に切り変わる生徒・保護者もいる。
・支援員が配置不可となり、精神的に不安定な生徒の個別的対応等、多面的に支援の必要な生徒への強力なサポート体制を取ることができなくなっている。
・１年生全体でのグループワークを継続して実施できたが生徒及び職員からは概ね好評。
・心とからだの健康観察を各自 forms 入力となったことで生徒の入力もスムーズになり職員の勤務改善のひとつとなった。登校渋りの生徒にとっても自宅でも可能なことはサポートの必要な生徒の迅速な把握に繋がった。
・カウンセラー（ＳＣ）を通して助言を受け必要に応じて外部機関を紹介した。
→保護者が必要とした場合は、ＳＣからの助言にもとづき、外部機関を紹介。

【情報・研究課】
・ネットワーク機器については、使いやすい環境の整備につとめている。
→引き続き担当分掌・担当者と協力し、運用していく。
・校務支援システムは、適切に運用している。
・校内 teams の連絡事項について、「もくじ」を設けることで全体を開かなくても概要がわかるようにした。
・白梅メールは、使用の手順を定めて運用している。
・職員間の一層の教え合い・学び合いの推進を図る。
→各分掌・各教科の協力のもと、ICT の活用について研究をすすめる。
・全体の会計の見直しについては順調に進んでいる。繰り越しの多い部会については長期的視点で改善を図る。
→非営利性が徹底された非営利型法人の要件を満たすように仕組みを整える。
・ウエブサイトは毎日更新し 400 ビュー/日を継続している。
・学校案内パンフレットは中学生体験入学にあわせて 7 月下旬の更新をした。

【質問・意見】
委員　：学校経営計画の達成指標の数値は、どのような考えのもとに設定されているのか。
校長　：第１回の会議で、委員の方からのご助言もあり、過去の実績等も踏まえ区切りのよい目標値とした。
委員　：学習状況調査について、探究活動等についても入っているのか。
→入れてもよい、というと変わるかも。
委員　：先生方の業務が大変多い。企業として支援できるところはないか。職員の働き方改革はどうなっているか。
生徒課：業務が増えるばかりでスクラップが無い。資料に掲載した業務の他に、少年センターと盛岡地域生徒指導連絡協議会の２種類の夜間巡回指導(18 時～１時間半)もある。
委員　：これでは若い方の教員志望も減る。
校長　：行事の精選に努めたい。
委員　：ジャージを着用したがる生徒の傾向として、高校時代のジャージを着て大学に来る学生がいる。岩手県内の中学校では、学校に着いたらジャージに着替えなさいという指導があるやに聞いている。大学で学生に聞くと、夏期の「軽装」は岩手固有であると感じる（他県の高校生はジャージ着用で学校生活を過ごすという体験がない)。
委員　：探究を進める上での二高ならではの工夫はあるか。
進路課：女子生徒しかいないため、様々な活動の後押しと、褒めて認めて前向きに取り組ん

でもらうよう留意している。

委員　：トイレの数の確保についてはどうなっているか。

保厚課：生徒数に対してトイレの数が不足しており、休み時間には行列ができている。生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、トイレの増設や使用環境の改善など具体的な対応を要請している。

ウ　その他／不祥事防止に関する学校の取組状況（校長）

不祥事防止対策に係る研修、部活動指導者研修会の伝達講習、再発防止「岩手モデル」に係る研修、校長による「コンプライアンス宣言」及び「コンプライアンス確立の日」における説明、定例職員会議でのコンプライアンス研修、毎週末のコンプライアンス研修について説明。

（５）意見交換

委員Ａ

・男子生徒の入学も見据え、今後の本校の在り方について改めて考えていく必要がある。母校のさらなる発展を願っている。
・130 周年記念事業について PTA 会長とも話をしたが、校内での話題や準備に向けた動きが十分に見えてこない。来年度に向けて、生徒への動機付けがほしいと感じている。
・130 周年記念事業を学校全体の取組として位置付け、生徒の成長につながるものにしてほしい。そのためにも、学校経営の中でどのように位置付けるかが重要である。
・司会を同窓生に依頼しているとのことだが、生徒も一緒に担当するなど、生徒が主体的に関わる形を検討してはどうか。
・寄付を募る際にも、学校として何を実現したいのか、具体的な方向性や事業内容を明確にすることが大切である。

委員Ｂ

・家庭における教育が十分に行われていないことが、学校への負担につながっていると感じている。
・以前は学校教育において「知」の部分が中心であったが、現在は生徒のメンタル面への対応も求められており、教員の負担は大きくなっていると感じる。
・教員が本来の教科指導に力を注げるよう、地域や家庭にも役割を担ってもらうことが必要であり、積極的に働きかけていくことが望ましい。

委員Ｃ

・今回の資料から、教職員が学校をより良くしようと努力している様子が伝わってくる。
・教員は多様な課題への対応を求められており、大変な状況にあると思う。個々の教員に負担が集中しないよう、組織として、チームで取り組んでほしい。

委員Ｄ

・教員の多忙化がなかなか解消されておらず、社会全体が教員の努力や善意に頼りすぎているのではないかと感じる。
・多忙な状況によって、教員一人ひとりが本来持っている能力や力を十分に発揮できていないのではないかと懸念している。
・学校現場の実情と世間一般の認識との間に乖離があるように感じる。

（６）その他

・次回は令和９年２月 18 日（木）を予定。

（７）閉会